

「語りもんそ」

Vol.54 平成30年 12月 30日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪ カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前 10時 30分から 11時
15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●11月25日(日)は、安楽聡子さん(ハープ)と和田梨奈さん(フルート)のお二人で、G.ビゼー作曲「“アルルの女”よりメヌエット」、F.ショパン作曲「ノクターン Op.9-2」、葉加瀬太郎作曲「エトピリカ」、C.A.ドビュッシー作曲「アラバスク第1番」、K.クンマー作曲「庭の千草変奏曲」、さだまさし作曲「秋桜」、中島みゆき作曲「糸」など7曲とアンコールに「ダニー・ボーイ」が演奏されました。



安楽聡子さん(ハープ) 和田梨奈さん(フルート)



○お客様に感想をお聞きしました

・中夷雲母(なかえびす きらら)さん

「私は、和田梨奈さんに憧れてフルートを始めました。久しぶりに間近でフルートとハープのきらびやかで優雅な音色を聴くことが出来とても幸せです。今日は1日が楽しくなりそうです」



●12月23日(日)は、田代衣音さん(クラリネット)と井手口希歩さん(ピアノ)のお二人で、P.チャイコフスキー作曲「花のワルツ」、G.ガーシュウィン作曲「ラブソディーインブルー」、F.ショパン作曲「ワルツ第4番“華麗なる大円舞曲”Op.34-3ハ長調」、F.ショパン作曲「遺作のノクターン第20番 嬰ハ短調」、作曲・編曲：クリスマスアルバムより「クリスマスメドレー」、中島みゆき作曲「糸」、P.デズモンド作曲「テイクファイヴ」、V.モンティ作曲「チャルダッシュ」など8曲とアンコールに「クラリネット・ポルカ」が演奏されました。

お客様から「お二人の温かく優しい音色にとっても癒されました。朝から頑張れる気持ちになる演奏会でした」などの感想をお聞きすることが出来ました。



田代衣音さん(クラリネット) 井手口希歩さん(ピアノ)

～財団自慢の実力者が集い、ハーモニーを奏でる～
 (公財)鹿児島県文化振興財団アーティスト
 バンク登録アーティスト紹介演奏会

紅葉コンサート

11月6日(火) 宝山ホール

出演は、今年度新たに登録された南條文香さん(ピアノ)、玉川智美さん(クラシックバレエ・コンテンポラリーダンス)と、アンサンブル形式で既に登録されているFlute & Piano“ファピノルート”の橋本さゆりさんと大森真理さん、桐めぐみ・濱田貴志ギターデュオの演奏・演技がありました。

●南條文香さん(ピアノ)



●玉川智美さん(クラシックバレエ・コンテンポラリーダンス)



●Flute & Piano“ファピノルート” 橋本さゆりさん・大森真理さん



●桐めぐみ・濱田貴志 ギターデュオ



○お客様に感想をお聞きしました

・南條百合香さん

「今日は姉が出演するので家族で聴きにきました。普段、家で見ることのない姉の姿に少し感動しました。ピアノ、フルート、ダンス、ギターのパフォーマンスはとても素敵で素晴らしく芸術になじみのない私でも十分に楽しむことができました」



シヨンの曲を聴きました。一つひとつの曲に心が込められていて、とても素敵でした」



・中原美咲さん (小4)

「とてもきれいな音色でした。特に東儀秀樹さん作曲の“蒼き海の道”はとても心に響きわたりました。この音色を目標にして、ヴァイオリンの練習を頑張ります」

・中野朱華さん (小5)

「演奏はとてもきれいな音色で私の心に響きました。私もあのようなきれいな音色をピアノで弾いてみたいと思いました。“狩衣”を着て演奏された2曲とお話はとても楽しかったです」



宝山プレゼンツ

東儀秀樹×古澤巖

コンサート『午後の汀』

11月24日(土) 宝山ホール

日本の伝統音楽『雅楽』の継承者“東儀秀樹”と卓越した技術を持ち世界で活躍するヴァイオリニスト“古澤巖”が贈る華麗なコンサートはお客様を魅了しました。

出演 : 東儀秀樹 (雅楽)
: 古澤巖 (ヴァイオリン)
: 阿部篤志 (ピアノ)

〇お客様に感想をお聞きしました

・森山真暉さん

「初めて東洋と西洋の旋律のコラボレーションを聴きました、新鮮でとても良かったです。東儀秀樹さん作曲の“那由多の祈り”が一番印象的でこの曲にたくさんの思いが詰まっているのかなと思いました。雅楽は初めてだったのでとても感動しました」

・青木真愛澗さん

「初めてピアノとヴァイオリンと雅楽のコラボレー

『演劇講座』

かごしま明治維新博イベント 県民による創作演劇
『西郷どんがやって来た』～あとを継ぐもの～
(稽古風景)

取材日 12月9日(日) 宝山ホール

1月5日(土)の公演に向けて、シーン毎の稽古を取材しました。



●出演者にお聞きしました

・大山真理香さん

「8年前の初演は知っていましたが出演していません。明治維新 150 年を記念して再演されるという事と鹿児島出身の大山勝美先生の“鹿児島に演劇づくりの楽しさを根付かせたい”という想いの遺志を引き継ぐということも知り、今回オーディションを受けました。

豎山博之先生の脚本・演出と、とめ貴志さん、久世恭弘さんと鹿児島で同じ舞台、同じ空間でお芝居できることに喜びを感じ、ひと回りふた回りジャンプアップしたいと思い稽古に励んでいます」



宝山プレゼンツ ルパンティック・ジャズナイト Lupintic Jazz Night

12月8日(土) 宝山ホール

「ルパン三世のテーマ」生みの親・大野雄二が凄腕ジャズマンと共にお送りするクールなジャズライブ

○お客様に感想をお聞きしました

・神原公美さん

「あのルパン三世に出てくる曲の数々を生演奏で聴けて感激でした。曲中に各楽器のソロパートもありそれぞれの持ち味を楽しめたのも良かったです。テンポの良い曲、楽しいトークタイム、美しいバラード、ピアノ1台の音色とは思えないピアノソロ、場内オールスタンディングのノリノリのアンコール、とても盛りだくさんで贅沢な時間でした。大野雄二さんが作曲したという鹿児島の曲も聴けてすごいと思いました。最高のライブでした」

・福本洋子さん

「それぞれの楽器の生の演奏が堪能できて良かったです。ルパン三世のテーマをはじめ、様々な楽曲を観客のコーラスなども交えながらとても楽しいライブでした。アンコールは“小さな旅”で大野雄二さんのピアノの美しい音色を間近で聴くことが出来感動しました」



宝山ホール広報ボランティア 『語いもんそ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行